



テーマ

住宅政策に医療を、医療政策に住環境を！

〈開催趣旨〉

安倍政権は重要政策として「健康長寿延伸」を掲げ、日本医師会と経済団体が「日本健康会議」を発足させました。経済産業省ヘルスケア課より経済団体に向けて、健康経営（健康企業宣言）の取り組みについて逐次説明されています。

待ったなしの**医療費増大**、**国民の寿命は世界一だが健康寿命との差は9年の大差**があり、莫大なこの間の医療費負担圧縮が緊急課題です。今こそ、国民あげて健康寿命の延伸に取り組む時期です。政府は、医師と薬局以外のオーソライズされていない健康関連産業を「**健康長寿延伸産業**」と位置づけ、その育成の役割を経済界に大きく期待しています。特に疾病原因の半分は住宅環境にあると、150年前にナイチンゲールは看護覚書として指摘、

疫病蔓延を住宅環境整備により食い止めています。

この度、日本居住福祉学会の仲立ちにより、日本医師会と不動産・住宅業界が初めて連携して“**住環境改善による国民の健康長寿延伸**”に取り組むことを合意しました。併せて従業員、家族、取引先の健康増進も連携します。健康を基底においた住宅開発に注力すれば、やや縮小気味の住宅業界に新たなマーケットが創出され、同時に居住福祉的な社会が誕生し、国民の幸せを呼び込みます。そこで、標記のフォーラムを内閣府後援のもとに、住宅月間中に都内で開催し、来年秋には同テーマで「日中韩居住問題国際フォーラム」を東京で開催します。

※今年の国際フォーラムは、中国西安で10月12日～15日に開催されます。

日時 ■ 2016年 **10月6日**(木) 受付：15時より
 フォーラム 15時30分～18時 会場 8階スイセン
 懇親会 18時15分～20時 会場 地下2階クラルテ

参加費 ■ 8,000円(フォーラム、懇親会)

会場 ■ 四谷駅前 主婦会館プラザエフ

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 <http://plaza-f.or.jp/>

- ・JR四ツ谷駅 麴町口から徒歩1分
- ・東京メトロ 四ツ谷駅から徒歩3分



基調講演

(公社)日本医師会
副会長 今村 聡氏



パネルディスカッション



日本居住福祉学会
会長 早川 和男氏



埼玉県住まいづくり協議会
副会長 鈴木 静雄氏



(株)ドムデザイン
代表 戸倉 蓉子氏

〈主催〉 (公社)日本医師会／日本居住福祉学会／埼玉県住まいづくり協議会

〈後援予定〉 内閣府／国土交通省／厚生労働省／経済産業省／板橋区／荒川区／埼玉県

〈協賛〉 いたばし倫理法人会／(一社)公益資本主義推進協議会／住宅新報／週刊住宅／ベターリビング／世界日報 他

★裏面に申込書があります。

テーマ
住宅産業健康経営フォーラム
住宅政策に医療を、医療政策に住環境を!

2016年**10**月**6**日(木)

参加申込書

年 月 日

氏 名

役 職

会社名

住 所 〒

電 話

携 帯

メールアドレス

同伴者

※参加費は当日受付にて承ります。

締め切り：9月16日(金)

★上記にご記入のうえ、FAXにて送信してください。

FAX：03-3972-0606

窓口：(株)リブラン内 日本居住福祉学会関東支部

担当 玉広 問合せ：080-6594-9061